



認知症スタンプラリー活動報告

認知症対策推進委員会 山田 徹

6月1日(日)、森林公園金川の森どんぐりの森にて「第5回認知症スタンプラリー」が開催されました。今年度、山梨県リハビリテーション専門職団体協議会が共催となり、当士会も初めてブースを出展しました。スタンプラリーは、子どもから大人まで楽しみながら認知症について学べるイベントで、行政や専門職だけでなく、コーヒーチェーン店や大学サークル、アロマ団体など幅広い団体が参加しているのが特徴です。

今回、当士会は「学ぼう！認知症と難聴の関係性」をテーマに、加齢性難聴の解説やクイズ、耳栓で聴力低下を再現する体験を実施しました。参加者からは「音は聞こえても言葉が理解できず会話が難しい」という体験を通じ、難聴の影響を実感していただきました。ブースには、公園に立ち寄った親子連れなど幅広い世代の方が訪れ、言語聴覚士の存在や役割を知っていただく貴重な機会となりました。イベントを通じ、認知症予防には専門知識や運動だけでなく、世代や職域を超えた地域の交流が重要であることを改めて感じる一日となりました。



- 《目次》 P1…認知症スタンプラリー活動報告 P2～3…失語症全国大会 in ぎふ 参加記
P4…教科問題別研究会(特別支援教育)学習会報告 P5…第26回日本言語聴覚学会 in 山形発表記・参加記
P6…令和7年度春期都道府県士会会長会議報告 P7…山梨県言語聴覚士会第17回学術大会
P8…令和7年度山梨県失語症者向け意思疎通支援者養成講習会
P9…県士会お仕事紹介～訪問リハビリテーション委員会～
P10…理事会報告 P11…各局・委員会からのお知らせ

失語症全国大会 in ぎふ 参加記

失語症友の会「ふじやま」運営委員会 舟越 あゆみ



令和7年6月7日(土)に『失語症全国大会 in ぎふ』が、岐阜市内のじゅうろくプラザにて開催されました。当日は全国各地から総勢約400名の当事者・ご家族・支援者等が集いました。失語症友の会「ふじやま」も、会発足以来初の県外へ、当事者6名、ご家族5名、支援者7名、ST8名の26名で参加しました。事前に行われた失語症意思疎通支援者の同行支援のための打ち合わせでは、当日の行程確認、集合時間、持ち物等を支援者とSTで確認をし、安全に参加できるように準備をし、当日はバスの車窓から見える景色、立ち寄るサービスエリアでのご当地グルメなど、移動も楽しみながら出かけました。

日付	行 程			
6/7(土)	湯村温泉病院	=== 〈中央道・双葉〉 ===	駒ヶ岳SA	=== 内津峠PA(昼食) ===
	7:30集合 8:00出発		9:30~9:45休憩	11:30~12:00
	行き			
	じゅうろくプラザ(岐阜県岐阜市橋本町1-10-11)			
	12:30~16:00			
6/7(土)	じゅうろくプラザ	=== 〈中央道〉 ===	恵那峡SA(夕食)	=== 湯村温泉病院 ===
	16:10出発		17:30~18:15	20:40到着
帰り				



8時前にバスへ乗り込み、出発です。バスの中では皆さんの大会参加への意気込みを聞きつつ、気持ちを盛り上げていきました。



内津峠PAには昼食休憩も兼ねて立ち寄りしました。直前の車内では、グルメやお土産などの検索に余念がありません。岐阜の名物グルメ「鶏(けい)ちゃん焼き」を食べようとしたのですが、提供までに時間がかかるということで断念した方もいました。内津峠PAから30分程で大会会場、じゅうろくプラザに到着しました。



第1部は風船太郎さんのパフォーマンスで会場は大盛り上がりでした。エンディングにはふじやまから参加のご夫婦が巨大な風船を割り、中から出てきた色とりどりの風船で会場を色鮮やかにして締めくくっていただきました。

第2部には「ようこそ、岐阜へ!」ということで、岐阜の著名人 Mr.マリックさんのメッセージ動画でマジック体験をしました。開催地の岐阜県をはじめ全国ご当地クイズでは、各チームに分かれて回答をしていきました。選択した番号を高々と掲げ、正解発表の際には各チーム内で正解を称え合う「よしっ!」という声と拍手で盛り上がりました。クイズの優勝チームの行方を気にしながら、集合写真を撮り、足早に会場を後にしました。

帰りの車内では大会に参加した感想を発表し合い、「もう少し長く会場にいたかった」「ただただ楽しかった」「来年9月に佐賀県で開催される全国大会にも行きたい」と意欲的な発言もあり、当事者・ご家族の方の充実した表情から参加できて良かったと感じました。支援者とSTのご協力のもと、12時間を超える日帰りバス旅行を無事に終えることができました。ふじやまのスローガンである「生活の中に活動と喜びを ～ここからはじまる地域とのつながり～」を胸に、今後も心躍るような活動をしていきたいと思います。





教科問題別研究会（特別支援教育） 学習会 報告 ～八代小学校にて講師として参加して～

石和共立病院 本間 隆之

令和7年8月20日、八代小学校にて笛吹市教育協議会教科問題別研究会（特別支援教育）に講師として参加してきたので、そのご報告をさせていただきます。

今回のテーマが「日ごろ特別支援教育において課題と感じている事を外部講師から学ぶ」とされており、リハの視点から子ども達とどう関わり、どのように評価をしているか視点を知りたいという要望がありました。また、連携を取るきっかけが無いことが多く、リハ職種を知って身近な存在にしていこうという目的もありました。



講義では、山梨県作業療法士会から、ひかりの家学園の三井先生も講師として参加され、それぞれの職種の役割、対象としている疾患、幼児期や学齢期でのリハの課題などの話をしました。その後の質問では、「構音障害の子にどのように指導しているか?」「学習障害の子への指導の方法は?」という内容がありましたが、どのような子を想定した内容なのか分からず、この場面は焦りました。



講義が終わった後、各テーブルで話を聞いた際には、対象児の課題についてどの職種に相談したらよいかなど、具体的な話が挙がりました。お互いの意図や視点、考えを共有しやすく、共通のイメージを持った会話が生まれました。会の終わりに構音障害について質問して頂いた先生とも話をすると、どの音が苦手、知的発達の段階などの話が出来て、こんな訓練はどうかという話が出来ました。



今回の講義を通じて、熱意のある先生方が多い中で、自分の専門外のところまで知識を拡げていくのは、やはり大変なことだと思いました。一から学ぶよりは知っている事は専門の人に聞いて、早く対象児に活かしていける事の方が大切だと思います。教育や学校のシステムの事など分からない事を気軽に聞き合える場、ツールがあるとお互いの負担を減らすことにもなると感じました。

個人的な感想にはなりますが、講義後の質問については、子どもの全体を把握する先生方の立場、課題など細部の原因を突き止めていくリハ職種の立場の違いがあるのではないかと感じました。どちらが良い悪いではなく、お互いが見ている事柄を共有することで、対象児についての理解が深まるのではないかと感じました。



第26回日本言語聴覚学会 in 山形 発表記・参加記

令和7年6月27日（金）、28日（土）に山形県で第26回日本言語聴覚学会が開催されました。



甲州リハビリテーション病院 石間戸 香穂

今回、「時間順序判断の誤りが特徴的な記憶障害の一例」について口頭発表を行いました。初めての ST 学会でしたし、全国学会での発表も初めてでしたので、不安だらけでしたが、色々な方々の援助のおかげで、無事に発表を行うことができました。症例について相談したり、先行研究と比較したりする中で、症例の症状について深く知ることができ、大変学びになりました。また、同僚や他の発表者の発表を聞いて学びを深めることもできましたし、山形ならではの食事や観光も楽しめ、とても充実した時間を過ごすことが出来ました。今回経験したことや学んだことを今後の臨床に活かしていきたいと思います。

甲州リハビリテーション病院 海野 友希

全国大会での発表は初めてだったため緊張しましたが、学ぶことが多く良い経験となりました。発表準備では、資料や症例の特徴の伝え方等、どのようにしたらいいか悩むことがあり、様々な方にご指導をいただき、発表を終えることができました。当日の発表では、発表後の質問や意見から学ぶこともありました。他の演題やポスター発表、企業のブースで話を聞いたことで、様々な臨床報告や工夫を知ることができました。学会発表を通して学んだことを意識しながら、臨床に取り組んでいきたいと思います。



湯村温泉病院 高木 建汰

今回の日本言語聴覚学会 in 山形は現地開催のため、初めての土地ということでも緊張しましたが、当日は山形新幹線運休というイレギュラーから始まり、果たしてたどり着けるのかの不安から一転、会場到着後は大学時代の友人や先輩、先生方と再会できたことで気持ちがほぐれました。実際に遠くの知り合いと直接会い、近況を報告しあい、さらに興味深い講演や演題発表を間近に見ることができたのも現地開催の醍醐味と思いました。特に失語症領域では chatGPT を用いて文章構成を正しいものに変換する新たなハイテク AAC の活用も学ぶことができました。私たちリハビリテーション領域にはあまり関係ないと思われた生成 AI が反映され始めている現状に驚きました。学会後は、山形名物のラーメンや山形のだしといった郷土の味も堪能し、学びと食の両面でとても充実した学会となりました。

甲府城南病院 大島 愛

山形県のやまぎん県民ホールで行われた、第26回日本言語聴覚学会に参加させていただきました。一番印象に残っているのは、2日目の教育講演「言語聴覚士のための高次脳機能障害学入門」です。高次脳機能障害とはから始まり、脳の解剖学的構造と機能、高次脳機能障害の階層性、高次脳機能障害の評価についてご講演いただきました。また、日々の臨床を通して障害の本質を明らかにしていくことが、最適な訓練への道と考えられるとのことでした。患者を目の前にすると、障害の本質を見極めることは難しいと日々感じますが、様々な症状に対面した際には、高次脳機能障害の階層性を意識して考えていきたいと思いました。



令和 7 年度春期都道府県士会会長会議報告

一般社団法人山梨県言語聴覚士会 会長 赤池 洋

令和 7 年 7 月 12 日（土）、春期都道府県士会会長会議がオンラインで開催されました。会議では各部からの報告事項とディスカッションが行われました。内容は以下の通りとなります。

- 失語症者向け意思疎通支援事業、施設登録、都道府県士会プラットフォーム、失語症者向け意思疎通支援者指導者養成研修の開催（修了者 140 名、累計修了者 1,100 名）、会員マイページの所属士会入力および施設登録（入力なし 57.7%）について報告された（総務部）。

- 言語聴覚の日 イベント共催・開催報告のお願い、中高生向け広報、各種広報関連情報の共有について報告された（広報部）。

- 言語聴覚療法に関連する国際学会情報、国際学術発表助成制度設立について報告された（国際部）。

- 災害対策アンケート調査、JIMTEF 災害医療研修、災害救助法改正について報告された（災害対策部）。

- 実務者講習会（基礎編、応用編）開催について報告された（医療保険部）。

- 学校教育連携担当者連絡協議会（12 月 6 日）、実務者講習会（小児編Ⅰ：11 月 30 日）開催について報告された（学校教育部）。

- 実務者講習会（小児編Ⅱ：12 月 14 日）開催について報告された（障害福祉部）。

- 研修会開催、令和 6 年度各種講座開催集計等について報告された（生涯学習部）。

- 臨床実習指導者講習会進捗状況報告について報告された（養成教育部）。

- 全体ディスカッションでは①連携体制に関するアンケート結果について②都道府県士会による広報活動の現状と課題について活発な意見交換がされた。

- 第 26 回日本言語聴覚学会（山形県）の開催報告、第 27 回日本言語聴覚学会の開催案内（令和 8 年 6 月 26 日、27 日：広島県）について報告された。

詳細は協会ホームページや情報誌 STANDUP をご覧ください。また、会員マイページの所属士会入力および施設登録ですが、協会では施設情報により協会の会員動向、一般利用者向けの施設検索、行政等へのデータ提供に活用しております。施設情報の登録状況は、協会ホームページのマイページ「設定」⇒登録情報確認・編集⇒勤務先をご確認ください。会員の皆様のご協力をお願い致します。



山梨県言語聴覚士会 第17回学術大会

ことばがつなく、笑顔と心～その人らしさを支える言語聴覚療法～



会期 2025年11月23日(日) 10時00分～16時20分

会場 山梨県医師会館(甲府市徳行5-13-5)

オンラインから現地開催へ



今年の学術大会は久々の「現地開催」となります。普段お会いできない先生方との交流や、対面で先生方の口述演題を聴衆できるようになり、皆様と学びの場を共有し、知識を深める機会になると思います！

特別講演



聴力低下によるフレイルに関する研究等、ヒアリングフレイル予防や聞こえの理解啓発を進めていらっしゃる「中石真一路先生」を特別講演でお招きし、「ヒアリングフレイル」についての講演を行います！

STが関わっている事業の紹介

地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みの中で、当県士会でもいくつかの事業へ関わっています。今回は失語症友の会「ふじやま」の運営や認知症カフェ(オレンジカフェ)への参加について紹介していただく予定です。



学術大会実行委員より

COVID-19など感染症による影響で、当県士会でもここ数年はオンラインでのコミュニケーションが主流となりました。今年度は久々に学術大会を対面での開催となり、当県士会ならではの「顔の見える県士会の良さ」が実感できる場を、久しぶりに皆様と共有出来ることを嬉しく思います。現地開催の本大会は見どころ満載なので是非、皆さまのご参加をお待ちしております！



第1回実行委員会の様子

「令和7年度山梨県失語症者向け意思疎通支援者養成講習会」
 選択科目**スキルアップ研修**は**3年間の最終年度**を迎えています
 研修では「失語症全国大会 in ぎふ参加準備や反省」、「**国政選挙投票練習**」、「**派遣実績における疑問点や課題の話し合い**」を体験し支援技術の実用性向上を目指します

山梨県失語症者向け意思疎通支援事業運営委員会 委員長 赤池 三紀子

令和7年5月23日（金）より、今年度の「失語症者向け意思疎通支援者養成事業スキルアップ研修」が始まりました。昨年同様、講義実習40時間を9回に分け、県登録の支援者1～3期生30名を対象にコミュニケーション支援技法をスキルアップして、失語症者の多様なニーズに役立てていきます。

第1回 5/23「全国大会参加準備」

令和7年度 失語症者向け意思疎通支援者 第1回養成講習会 選択科目	
R7.5.23(金)	
山梨県立図書館イベントホール東	
本日のスケジュール	
1. 18:30～19:15	講義 杉本運営委員 「福祉制度概論」
2. 19:15～19:45	講義 赤池運営委員長 「コミュニケーション選択法(会話能力に応じた対応Ⅱ)」 失語症全国大会in岐阜 派遣支援手引き グループワーク
3. 19:45～20:30	発表と情報確認および共有



テーマ：出発について

(グループ⑤発表者：小沼)

- ・再度、トイレや体調、水分の確認
- ・荷物の置き場所を確認
- ・バス乗車時（昇降動作）を安全にできるよう見守り確認



テーマ：車中、駒ヶ根PA

(グループ④発表者：小林)

- ・体調他リスク管理に対する心構えを常にしておく
- ・タイムスケジュールを伝える
- ・SA、PAの見取り図を伝えておく
- ・昼食時に何を食いたい？スマホなど活用し情報提供

第2回 6/25「失語症全国大会 in ぎふ」の振り返りと要点筆記練習



県派遣支援としての全国大会には、支援者7名が当事者6名を盛り上げました

第3回 7/5「投票の仕組みと代理投票について」

参議院議員選挙投票方法



代理投票について



第4回 7/25

「個別派遣場面での会話支援は誰に何を伝えるか」

派遣に向けての重要な注意点 について検討しましょう



必ず失語症のある人を**第3者(医師、店員など)の前に位置**してもらい、失語症のある人に話しかけてもらうように配慮する。

県士会 お仕事紹介

訪問リハビリテーション委員会

石和共立病院 市川 奈弥

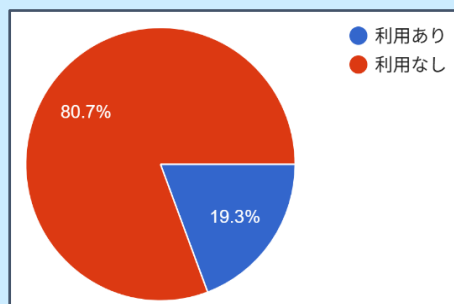
当委員会は、PT/OT/ST3 職種で、山梨県内の訪問リハビリテーションの普及促進のため、活動しております。主な活動内容は、実務者研修会（生活期リハビリテーション研修会）を年 1 回実施、県内の訪問リハ実態調査を 2 年に 1 回、全国の訪問リハを担っている方々と勉強や活動報告をする地域リーダー会議に PT/OT/ST3 職種で参加しております。

<生活期リハビリテーション研修会>

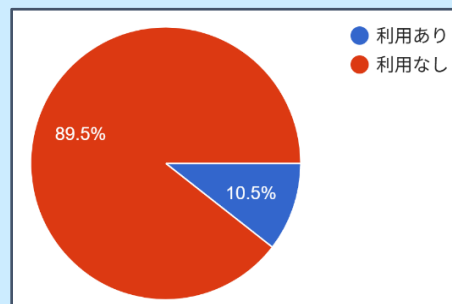
昨年度は、2025 年 3 月 9 日「介護報酬改定における多職種連携について～在宅でのリハビリテーションにおける口腔・栄養～」をテーマとして開催されました。

第 1 部では、山梨県内の訪問リハビリテーションの実態調査の結果について報告しました。山梨県内 146 の施設を対象に 2024 年 9 月の訪問リハビリテーションの実施状況についてアンケートを行いました。一部ご紹介いたします。県内で訪問リハを行っている 57 件の病院・施設から、ご返答をいただきました。全体の利用者数は 1415 名・6508 件、うち ST による利用者数は、104 名・424 件であり、全体の 7%程度となっています。ST の訪問リハを実施している施設は 19.3%、訪問リハに従事している ST の人数は 11.5 名でした。2021 年度の人数は 10 名であり、ほぼ変化ありませんが、利用者数・件数は 1.6～1.7 倍に増加しています。ST 需要は増えていますが、訪問リハビリテーションに関わる ST 数は変化がないことがわかります。

また、小児の訪問リハビリテーションの利用状況は、89.5%が利用なしと回答されており、山梨県の小児リハビリテーションを取り巻く環境についての課題と言えます。



言語聴覚士による訪問リハビリテーションの利用について
(57 件の回答)



小児の訪問リハビリテーションの利用について
(57 件の回答)

第 2 部では歯科医師小沢章先生（おざわ歯科医院）、歯科衛生士坂野さおり先生（山梨県歯科衛生士会）、管理栄養士田中友美先生（甲州リハビリテーション病院）、言語聴覚士萩原由香先生（山梨リハビリテーション病院）から訪問歯科診療の実態や栄養評価、摂食嚥下障害についてご講義いただきました。専門的な評価や、関わり方の工夫など、多職種の視点から多くを学ぶことができました。

今年度は 12 月 20 日（土）「フィジカルアセスメント・多職種連携」をテーマに研修会を予定しております。情報交換や相談ができる場を多く設定します。訪問リハビリテーションに興味がある方、臨床でお悩みの方、仲間作りをしたい方、どなたでも気軽にご参加ください。



令和6年度生活期リハビリテーション研修会の風景

第1回 理事会議事録

日 時：令和7年4月11日(金)19時01分～20時35分
出席理事：赤池(洋)、赤池(三)、中村、市川、佐々木、高橋
中嶋、萩原、舟越、吉澤、桂川

欠席理事：岡、武井、元木、山田

<協議事項>

1. 災害時の情報共有、連絡ツールとして、LINE のオープンチャット機能を用いて責任者 LINE グループを作成することが承認された。
2. 第17回学術大会について、令和7年11月23日に対面形式で開催することが承認された。

<報告事項>

1. 失語症友の会「ふじやま」第16回定例会について報告された。今後の予定として、「失語症全国大会 in ぎふ」に向けての参加の準備状況について報告された。
2. 令和7年度失語症者向け意思疎通支援者養成講習会日程(案)について報告された。また、山梨県障害福祉課と令和7年度失語症者向け意思疎通支援者養成講習会スキルアップ研修の調整を行っていることについて報告された。
3. テフリンピックについて、関東圏都県士会および聴覚分野のSTの打ち合わせが行われたことについて報告された。

第2回 理事会議事録

日 時：令和7年5月16日(金)19時48分～20時00分
出席理事：赤池(洋)、赤池(三)、中村、元木、市川、佐々木
高橋、武井、中嶋、萩原、舟越、吉澤、山田、桂川

欠席理事：岡

<協議事項>

1. 第17回学術大会の開催日程を2025年11月23日とすること、日本言語聴覚士協会の生涯学習ポイント取得の対象研修会の申請、大会プログラム内容(口述発表および特別講演テーマおよび講師：中石真一路先生)、会場(山梨県医師会館で現地開催のみ)、参加費(会員2000円、非会員3000円、学生無料)について承認された。抄録については、県士会員には送付し、非会員はHPからダウンロードする方式で承認された。組織編制は、大会長は佐々木蘭子先生、実行委員長は市川奈弥先生、オブザーバーは吉澤由香先生とし、他14名の実行委員、8名の査読者についても承認がされた。

<報告事項>

1. Ghoonuts 株式会社が新規賛助会員として入会されたことが報告された。アトスメディカルジャパンについては、コロプラスト株式会社に社名変更され、令和7年度も会員継続希望があったことが報告された。

第3回 理事会議事録

日 時：令和7年6月20日(金)19時00分～20時11分
出席理事：赤池(洋)、赤池(三)、中村、元木、市川、佐々木、高橋
中嶋、萩原、舟越、吉澤、桂川

欠席理事：岡、武井、山田

<協議事項>

1. 新卒者研修会について、言語聴覚士の職務と役割(赤池会長)、

ST のコミュニケーションに欠かせないもの・対人コミュニケーション(中村副会長)、事例検討を失語症・高次脳機能障害と摂食嚥下障害の2領域にて行うことが承認された。

2. 令和7年度外来リハ・訪問リハ・訪問介護・通所リハ・通所介護に関する実態調査について、令和7年7月現在の調査を行うこと、依頼文書を送付し、情報を集約していくことが承認された。
3. 災害時安否確認システム令和7年度第1回予行演習を実施することが承認された。方法は従来通りだが未回答の会員への促しについて、施設責任者LINEを主体として実施していくことも承認された。
4. 日本言語聴覚士協会災害基礎研修会伝達講習会が9月4日、9月11日に開催されることが承認された。

<報告事項>

1. 昭和町より健康講座の講師依頼があったことについて報告された。
2. 失語症全国大会 in ぎふについて報告された。
3. 令和7年度第1回失語症者向け意思疎通支援者養成講習会(スキルアップ研修)、派遣実績報告、令和7年度失語症者向け意思疎通支援者の利用人数(実数)13名、及び総派遣回数11回を県から国に報告、失語症全国大会 in ぎふに県派遣として登録支援者7名が参加したことについて報告された。

第4回 理事会議事録

日 時：令和7年7月18日(金)19時00分～20時31分
出席理事：赤池(洋)、赤池(三)、中村、元木、市川、岡、佐々木、高橋、武井、中嶋、萩原、舟越、山田、吉澤、桂川

欠席理事：岡

<協議事項>

1. 山梨県老人クラブ連合会主催イベントへの名義後援、ブース出展を行うことが承認された。
2. 県士会 News62 号の内容について承認された。

<報告事項>

1. 第1回症例検討会について報告された。
2. インクルーシブ教育推進事業実績について報告された。
3. 令和7年度第2回・第3回失語症者向け意思疎通支援者養成講習会(スキルアップ研修)、令和7年度失語症者向け意思疎通支援者指導者養成研修修了者の集い、山梨県障害福祉課との次年度以降の事業についての打ち合わせについて報告された。

開催方法：オンライン会議

議 長：赤池洋

書 記：石間戸香穂、河村有美、佐藤淳貴、望月智佳

議事録作成：桂川謙祐

<各局・委員会からのお知らせ>

事務局

<総務部>

- ・会員動向（令和7年9月現在）

正会員数133名、賛助会員5団体

- ・休会届について

育児や介護、健康上の理由などの事情がある場合には、休会申請をしていただくことで年会費が免除となります。休会申請は、休会しようとする年度の前年度の12月末日までに手続きを行っていただく必要があります。申請用紙は県土会HPからダウンロードすることができます。ご不明な点は事務局（総務部 桂川 st2014@st-yamanashi.jp）までお問い合わせください。

<財務部>

- ・会費納入のお願い

年会費10,000円を未納の方は、佐々木財務部長へご連絡いただくか、下記口座へお振込みください。ご協力をよろしくお願いいたします。

金融機関名	山梨中央銀行
支店名 店番	石和支店 305
口座名 番号	普通 950758
名称	一般社団法人山梨県言語聴覚士会 シヤ・ヤマナシケンゲンゴチヨウカクシカイ

学術局

<学術部>

各種研修会は、日程が決まり次第、メールやホームページで会員の皆さんへご案内します。

集合開催の講演会も企画しています。顔の見える関係作りを更に深めていきたいと考えております。お忙しいかと思いますが、多くの会員の皆さんにご参加いただけると幸いです。

社会局

<渉外部>

今年度も「外来リハ・訪問リハ・訪問看護・通所リハ・通所介護に関する実態調査」へのご協力をありがとうございました。最新情報がホームページに掲載されておりますので、日々の業務や医療・介護連携の際にご活用いただければと思います。

<会報編集・ホームページ管理部>

ホームページ上段には、県土会活動の様子や山梨県の名所の写真などを掲載しております。会員の皆様から写真を募集しておりますので、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

失語症友の会「ふじやま」運営委員会

令和7年9月13日(土)に第17回定例会を開催しました。9月は防災月間であることにちなみ、当事者と共に防災について考える機会を設けました。あらためて、言語障害の方に対する情報保障についての知識を深め、日頃の備えが大切であることを確認しました。第18回定例会は、令和8年1～2月に開催を予定しています。ぜひ、会員の皆様のご参加もお待ちしています。

災害対策支援委員会

災害対策支援委員会では今年度初めてとなる、災害時安否確認システム第1回予行演習を令和7年7月7日～7月14日に開催しました。第1回予行演習では71名の会員の皆様に参加していただきありがとうございました。今年度からは災害時における情報共有や連携がより迅速に行えることを目的として「責任者 LINE グループ」の運用も開始しています。災害時安否確認システム予行演習の際にも活用させて頂いておりますので、まだ参加されていない責任者の先生方はご確認をお願い致します。



やさしい聴こえのお手伝い

- 認定補聴器技能者在籍
- 補聴器の無料体験
- 支援法補聴器取り扱い

認定補聴器専門店
なかだて補聴器センター

甲府店 ☎ 0120-29-3321 玉穂店 ☎ 0800-800-8173
甲府市中央5丁目2-29 中央市若宮 29-3 T-ウエスト

G ジェントル スティム

リハビリテーションのための
新たな電気刺激装置

痛くない療法
感覚刺激
使いやすい

foodCare JAPAN TEL: 042-700-0039 www.food-care.co.jp

喉頭を摘出した方の QoL 向上を
目指し、代用音声用製品（シャ
ント発声・電気式人工喉頭）、
呼吸器ケア用製品（人工鼻
（HME））を提供しています。

コロプラス株式会社 代用音声・呼吸器ケア事業本部
（旧株式会社アトスメディカルジャパン）
〒102-0074 東京都千代田区九段南2-1-30 イタリア文化会館ビル11F
Tel: 0120-664-469 Fax: 03-6770-0002
www.atosmedical.jp

Atos

Pepti-Sal 唾液のチカラで健康と笑顔を
Oral Health for Everyone

デリケートなお口をやさしくケアし
お口の環境を健康に保ちます

Pepti-Sal（ペプチサル）とは
「Peptide（ペプチド）」+「Saliva（唾液）」の造語。
唾液のチカラに着目して開発された
低刺激性のオーラルケア製品です。
要介護の方の口腔ケアにもおすすめです。

Pepti-Sal MouthGel, Mouthwash, Toothpaste

2重歯肉
ヘブチド
乳酸
フェニル
キシリ
トール
保湿成分
配合
pH
中性域
無
洗剤
配合
アルコール
配合
パラベン
配合

T&K ティーアンドケー株式会社 TEL: 03-5640-0233 FAX: 03-5640-0232 www.comfort-tk.co.jp

コトサブ 自宅で手軽に自主トレ！
言語トレーニングアプリ

リハサブ 言語訓練をアプリ1つで！
言語聴覚士向け教材アプリ

一般社団法人山梨県言語聴覚士会ニュース

<発行所> 一般社団法人山梨県言語聴覚士会
<発行人> 赤池 洋
<編集> 一般社団法人山梨県言語聴覚士会 社会局会報編集・HP 管理部

石 和 温 泉 病 院 : 高橋 正和
甲 府 城 南 病 院 : 吉澤 由香、佐藤 淳貴、大島 愛

訪問看護ステーション洗心 : 岡 大樹
甲州リハビリテーション病院 : 海野 友希
甲 府 共 立 病 院 : 菊原 悠雅
山梨リハビリテーション病院 : 古西 叶佳
春日居総合リハビリテーション病院 : 志摩 美月
湯 村 温 泉 病 院 : 高木 建汰

<事務局> 医療法人慈光会 甲府城南病院 言語聴覚療内科内
〒400-0831 甲府市上町 753-1
<発行日> 2025 年 11 月 1 日 第 62 刊

編集後記

今年の夏は非常に暑い日が続きましたが、10月に入ると少しずつ涼しさが感じられるようになり、過ごしやすい季節になりました。急な寒暖差で体調を崩しやすい時期でもあるので、体調管理に十分注意していきたいと思います。適度な休息と温かい食事で、季節の変わり目を乗り切りましょう。

また、これからは新型コロナウイルスだけではなく、風邪やインフルエンザが流行しやすい季節となります。引き続き、手洗いやマスク、換気など基本的な感染対策を徹底し、患者様や自身の健康を守ることに努めていきたいと思います。寒暖差や季節の変わり目で体調を崩しやすい季節ですので、皆様どうぞご自愛ください。

最後に、私が会報編集部の活動に携わらせていただいてから1年以上が経過しました。時の流れが早く、とても驚いています。今号も無事に皆様にお届けできたことを嬉しく思います。充実した内容となっていますので、ぜひ熟読していただければ幸いです。（古西叶佳）